

南九州 畜産獣医学拠点 を知る

—第8回—

市は鹿児島大学と連携し財部高校跡地に「南九州畜産獣医学拠点（以下 SKLV）」の整備を進めており令和6年4月1日の運用開始を目指しています。

今回は馬事業について、新たに整備することとなったホーストレッキングコースの構想についてご紹介します。



～馬事業について～

ホーストレッキングとは？

SKLVでは馬を飼養します。馬は獣医学生などの実習に活用されますが、施設を訪れた方が乗馬体験をすることもできます。ホーストレッキングとは馬場の外で馬に乗って散策することです。SKLVでは敷地内で乗馬できる馬場の整備のほかに、敷地外に出て自然の中でホーストレッキングができるコースを整備する予定です。



なぜホーストレッキングコースを整備するの？

SKLVは獣医学生の実習施設・次世代型畜産の実践施設・産業の創出拠点であるほか、観光などによる交流人口の創出拠点でもあります。ホーストレッキングコースを整備することで乗馬体験のメニューが増え、施設の付加価値が高まり市内外から多くの人を訪れる施設となることが期待できます。馬にとってもストレス軽減・心肺機能や筋力の維持になるためコースの整備は重要です。さらにコースはSKLV周辺を管理するための通路としても活用します。



まとめ

SKLVを訪れた方が気軽に乗馬を楽しんだり、馬と触れ合える施設になるよう事業を行っていきます。

お問い合わせ
企画政策課 ☎ 0986-76-8802

馬関連施設は今後本格的な工事が始まります。近隣住民の皆さまや市民の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

